



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 29

2025.11.17 文責：校長 松田

中尊寺見学学習（6年）

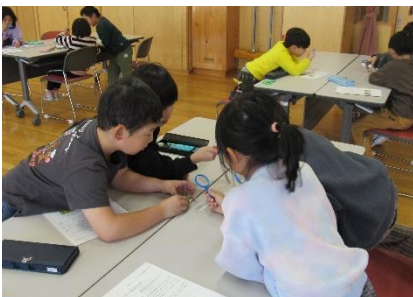
11月14日（金）、6年生が中尊寺を訪れ、世界遺産の見学学習を行いました。事前の出前授業で学んだことを踏まえ、金色堂と讃衡蔵を見学しました。子供たちは藤原清衡が平和を願って建立した金色堂を目の当たりにし、その美しさに感銘を受けていました。特に、金色堂の金箔が施された輝きは「すごかった!」との感想が多く、実際に目にしたからこそ感じられる特別な学びの機会となったようです。また、讃衡蔵では、多くの文化財を調べながら、奥州藤原氏の繁栄とその時代背景について深く考える時間を持つことができました。



森林環境学習会（1・2年）

11月14日（金）、県の「いわて森のゼミナール推進事業」森林環境学習会を岩手県環境アドバイザーの方をお迎えし、1・2年生が参加し行われました。今回の授業では、いろいろな植物の種をじっくり観察し、森林に関わる学びを深めました。

子供たちは、種の形、大きさ、色、手触りなどを熱心に観察し、「これってどんな植物かな?」と興味を持ちながら活動に取り組んでいました。授業の中では、空を飛ぶ種（「アルソミトラ」という植物）の模型をつくり実際に飛ばす体験も行いました。子供たちは自然とのつながりを少しずつ感じ、森への親しみを育むことができました。



音読集会(2・6年)

11月11日(火)、第2回音読集会が行われ、2年生と6年生がそれぞれ発表しました。今回の集会では漢詩と日本の詩に挑戦し、くしくも日本の詩はいずれも北原白秋の作品でした。

2年生は漢詩「静夜思」を全員で一斉読みし、声をぴったり揃えて流れるようなリズムで発表しました。また、北原白秋の「りす、りす、小りす」では、追いかけて読みを取り入れて、まるで詩の世界を楽しむように明るい空気を作り出しました。

6年生は漢詩「春望」を交互読みし、それぞれのパートで感情を込めながら、深い味わいを感じさせる読み方を披露しました。また、北原白秋作詞の「お祭り」では足でリズムを取りながら音読を行い、迫力のある詩の世界を表現しました。6年生らしい一体感のある発表でした。

発表前には、ことばの教室の先生から発声の仕方について教えていただき、全員で発声練習をしました。



ドッジビー大会(体育委員会)

先週、児童会の体育委員会主催によるドッジビー大会が開催されました。この大会は紅白対抗戦で行われ、10日(月)には1・4・6年生が、12日(水)には2・3・5年生がそれぞれ熱戦を繰り広げました。

低学年の子供たちは元気いっぱいに逃げ回り、高学年の子供たちは下の学年を親切にサポートしながら、楽しくゲームを進めました。異学年の児童がそれぞれ交流し、和気あいあいとした雰囲気の中で試合が進みました。学年を超えた中で、自然と助け合う姿が見られ、友情が育まれる良い機会となりました。



お米の出前授業(5年)

11月17日(月)、5年生を対象に「お米の出前授業」が行われました。この授業には、学校裏の田んぼで有機米づくりを行う「一関地方有機農業推進協議会」代表の小島さんが来校し、有機米について説明してくださいました。

有機米は、農薬や化学肥料を使わず、堆肥や米ぬか、田んぼに生息する生き物の力を借りて栽培された環境に優しいお米であることが話され、子供たちは興味津々で耳を傾けていました。

また、有機米が実際に当日の給食に提供されることを知り、子供たちはその美味しさを味わいながら、有機農業の大切さを体感しました。

